

静岡市清水区感染症発生動向

2016年 33週

集計期間 8/15-21

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症	1	1												2
咽頭結膜熱														
溶連菌感染症			1			1			1					3
感染性胃腸炎		4	1	1	5	1	2	2	6	7	3	6		38
水痘												1		1
手足口病			1											1
伝染性紅斑														
突発性発疹														
百日咳														
ヘルパンギーナ			1			1						1		3
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ			1			1								2
髄膜炎	1													1
MCLS														
小児科Flu														
						小児科定点総数 51		増減 -21		前週比 70.8%				定点当たり 8.5
										病院:開業医 9:42				増減 +2:-23
内科Flu														
								インフルエンザ総数		増減 0		前週比 ?%		定点当たり
										小児科:内科 0:0				増減 0:0

定点で、夏季休暇を取ったところがあり、数字は参考です。

総数51、前週の70.8%と減少です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比95%、定点当たり7.6と減少です。

以下は、定点当たり1未満ですが、

2位は、ヘルパンギーナ、前週比23%、溶連菌感染症、前週比100%が、
定点当たり0.6で並んで入っています。

あとは、RSとマイコプラズマが2名ずつ、手足口病、水痘が、1名ずつ、
そして、無菌性髄膜炎が1名報告です。

全体に数は少ないですが、胃腸炎が首位、溶連菌、ヘルパンギーナが、少し、
そして、マイコプラズマ、そしてRSに要注意の状況です。